



Weekly Report

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

創立：1980年(昭和55年)11月10日
 会長：増田 盛英
 幹事：高木 勝
 クラブ委員長：岩崎 道夫

例会日：毎週木曜日PM12:30～
 会場：ビルトン名古屋
 事務局：460-0008
 名古屋市中区栄1丁目3-3
 ビルトン名古屋910号

TEL：052-211-3803
 FAX：052-211-2623
 MAIL：2760nagoya@mizuho-rc.jp
 URL：http://www.mizuho-rc.jp/

2009～2010年度
 国際ロータリーのテーマ
 ロータリーの未来はあなたの手の中に
 2009～2010年度
 RI会長 ジョン・ケニー

第1428回例会

～新世代のための月間～
 クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2009年9月17日(木) 晴 第11回

司会：馬場将嘉会場委員長
 斉唱：「それでこそロータリー」
 ゲストスピーカー：徳川黎明会 徳川美術館副館長 四辻秀紀さん

会長挨拶

増田盛英会長

今日は同時多発テロの話します。皆さんがよくご存知のように、2001年9月11日、乗っ取られた2機の民間航空機が米国貿易センタービルの2棟に激突したテロ事件は記憶に新しいと思います。2752人が犠牲となりました。その他にも市民や消防士ら343人の犠牲者も出ています。



今年、バイデン副大統領、ブルームバーグニューヨーク市長の出席のもと、雨が降る中での追悼式典がありました。一方、オバマ大統領は国防総省で行われた式典で追悼演説を行い、「幾たびの季節を経ても、あの日の喪失感と悲しみが消え去ることはない。国の防衛において、我々は決して動じない。(国際テロ組織)アルカイダやその過激派の同盟者等に対して、決してためらわない」と述べました。今からお話することは、インターネットで検索したのですが、「逃げ遅れるぞ!」というタイトルの日本人社員の脱出記を読ませていただきます。

時計の針は午前8時45分を指していた。1200のオフィスで、それぞれの1日が始まるようしていた。

「ガガガ」

鈍い音の後、「ドーン」と大きな衝撃音が続いた。高さ417メートルのノースビルが、激しく揺さぶられた。

「飛行機がぶつかったぞ!」

◆84階にある山陰合同銀行ニューヨーク支店。出社したばかりの支店長代理(41)は、現地スタッフの声で窓の外を見た。「地震だ」と叫ぶ人もいた。飛行機の破片らしいものがばらばらと落ちてきた。飛行機がぶつかったのはわずか2階上の86階だった。廊下に出ると、壁が崩れていた。6基あったエレベーターはすべて止まり、火の手があがっているものもあった。だが、まだ電気はついている。

◆90階の中国銀行ニューヨーク支店。支店長(45)は、支店長室で業務の打合せをしていて、窓から火柱が立つのを見た。天井の板が落ち、窓ガラスが割れた。隣のドアが吹っ飛んだ。支店備え付けのマスクとヘルメットを全員につけさせ、外に出た。

◆45階の保険代理店で1人朝早く出社していた女性社員(54)は、衝撃で、体が大きく前に突き出され、倒れそうになった。夢中で机にしがみついた。災害警報は鳴らなかつた。しばらくすると焦げるようなにおいが漂ってきた。事務所のドアが開かなくなっていた。何度たたいてもびくともしない。夢中で何度もドアを蹴飛ばし、何とかこじ開けた。廊下先の非常階段を下りていた男性が女性社員の姿を見つけ、大声で怒鳴りつけた。「何やっているんだ、逃げ遅れるぞ!」

「早く下りろ。」警備員が叫び続けていた。

◆伊藤忠商事会社の子会社の副社長(34)は、煙が立ちこめる中、ハンカチを口に当てて89階から避難した。ビルの非常階段は、大人2人がやっとすれ違えるくらいの幅しかない。人々は一列で数珠つなぎのようになって下りた。ホースを持った消防士が次々と駆け上がってきた。天井からはスプリンクラーの水が落ちてくる。上の階からは、さらにあふれるように人が下りてきた。すすやほこりで真っ黒になった人。顔から血を流す人。やけどで手の皮がはがれた人。それでもほとんどの人は冷静だった。途中の階の自動販売機で飲み物を買っている人もいた。年配で歩くのが遅いや、しゃがみ込む人がいる。「がんばって」と声をかけあった。皆がようやく1階にたどりついたのは1時間半後だった。ロビーに倒れたまま動かない人がいる。外に出て見上げると「ギシギシ」という音がして、コンクリートの破片が降ってきた。「いかん、逃げなきゃ」

◆1階のコンコースから外に出た女性社員も夢中で走った。携帯電話も財布も置いてきた。ふと後ろを見ると、びしょ濡れでほこりだらけの人々が何百、何千と自分の方向に向かってきた。そしてその後ろから、白い煙のかたまりが道づたいに襲いかかってきた。

◆皆避難先に向かっていった。ビルから200メートルほど離れたところで、通りにいた人が「オーマイガット!」と叫んだ。振り返ると自分たちがさっきまでいたノースビルが崩れ始めていた。

◆90階から逃げた支店長たちは、まだ非常階段の中だった。9階にたどり着いた時、もう一度ビル全体が壊れそうなほど、大きく揺れた。直後、停電して真っ暗になった。煙が充満していた3階あたりから消防士が付き添い、何とか脱出した。

地鳴りとごう音とともに、雲のような煙がわきあがる。輝くガラスの壁でおおわれた世界第4位の超高層ビルは、あっという間に姿を消した。

これが当時ビル内の会社に勤務していた日本人社員の手記でした。私たちは、この悲しい出来事を忘れてはいけません。日本でもいつ起こるかわかりません。この手記の「それでもほとんどの人は冷静だった」とあるように、有事の時にパニックにならないように、いかに冷静で落ち着いているかが肝心だと思います。

挨拶を終わります。ありがとうございました。

幹事報告

高木 勝幹事

- ・敬老のお祝いの品は(平野哲始郎さん以外)9月21日(月)着でご自宅に届きます。
- ・本日13時35分より9階「ことぶきの間」にて第11回30周年実行委員会を開催致します。
- ・本日18時よりローズコートホテル3階「アブローズ」において井上浩子事務局員送別会を開催致します。
- ・次週9月24日(木)13時35分より9階「ことぶきの間」において職業奉仕委員会主催クラブフォーラムのための打合せを行います。
- ・同じく次週9月24日(木)18時より河文において歴代幹事会を開催致します。
- ・9月19日(土)から9月22日(火)までシルバーウィークのため事務局が休みとなります。なお、9月23日(水)は例会前日の為出勤致します。
- ・10月1日(木)よりネクタイ着用をお願いします。

会員70名 出席46名 (出席計算人数53名)

出席率 79.3%

9月10日は補填により 86.9%

委員会・同好会報告

国際奉仕委員会:堀 慎治委員長

名古屋姉妹友好都市協会からのご案内で、10月2日(金)6時半から8時までウェスティンナゴヤキャッスルにおいて姉妹友好都市レセプションが開催されます。興味のある方は事務局へお問い合わせください。

クラブ広報委員会:岩崎道夫委員長

今週末からシルバーウィークですので、本日の分のウィークリーは来週のものとともに10月1日の例会で配布致します。どうぞよろしくお願い致します。

ニコボックス

宇佐美貞夫ニコボックス委員

- ・井上さん、長い間大変ご苦勞様でした。9月20日は私の誕生日です。
近藤 雄亮さん
- ・少し落ち着きました。久しぶりに例会に参加です。色々ありがとございました。今後共よろしく願い致します。
関谷 俊征さん
- ・代表取締役社長に就任しました。今後共よろしく願います。
鈴木 淑久さん
- ・本日卓話講師として徳川美術館の四辻秀紀副館長をお迎え致しました。素敵なお話を伺えるものと楽しみにしております。
野崎 洋二さん
- ・ゴルフで賞金(馬券)が当選したので。
高村 博三さん
- ・先週の梅村先生の卓話に大変はすかしい思いました。
松波 恒彦さん
- ・昨日は増田会長と奥三河口ロータリーに行ってきました。名古屋へ帰っての一献は冷酒を飲み過ぎて、今朝は相当な二日酔いでした。
遠山 堯郎さん
- ・当クラブの会長のバトンを受けて相前後して井上さんを迎え、今日まで約23年の長期大変やっかいになりました。ありがとう。元気で過ごされることを祈念します。
江口 金満さん
- ・井上浩子さん長い間当クラブに勤務して頂きありがとうございました。これから時々遊びに来て下さいね。
田中 隆義さん
増田 盛英さん 松岡 道弘さん 高須 洋志さん
梅村 昌孝さん 渡辺喜代彦さん 岡本 忠史さん
- ・9月26日は誕生日です。
大嶽 達郎さん
- ・本日は妻の誕生日です。美しい花、ありがとうございます。
長瀬憲八郎さん

敬老の日のお祝い

本年度敬老お祝い対象者

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 江口 金満さん | 岩本 成郎さん | 岩田 吉廣さん |
| 春日 良平さん | 越原 一郎さん | 松井 善則さん |
| 嶺木 一夫さん | 森 真佐雄さん | 森 恒夫さん |
| 守谷 巖樹さん | 中川啓二郎さん | 野崎 洋二さん |
| 布目 徳さん | 岡本 忠史さん | 大川 嘉成さん |
| 佐藤 善乙さん | 鈴木 圓三さん | 高村 博三さん |
| 田中 政雄さん | 山田 鎮浩さん | 平野哲始郎さん |

以上21名の方でした。

お祝いの言葉:梅村昌孝さん



本日は皆様、敬老の日おめでとうございます。伝統ある瑞穂RCの皆様は、日頃よりロータリー活動はもとよりあらゆる分野の最前線で活躍されている方ばかりだと聞いておりますので敬老という言葉がお似合いにならないのは当然でございます。もともと「敬老」とは、長い年月にわたり社会に尽くしてきた方々に感謝し、その

方々の長寿とご健康をお祈りするものだそうです。心からお祝い申し上げます。今後とも我々若手に進むべき道を示していただければ幸いです。

お礼の言葉:平野哲始郎さん



以前は敬老の日のことを年寄りの日と呼んでいたそうです。それが昭和39年に老人の日なり、その後昭和41年に敬老の日となったということです。外国から伝わってきた母の日などは違い、敬老の日とは日本独特なものだそうです。先程梅村さんも言われたように、敬老とは多年にわたり社会に尽くしてきた方を尊敬し敬愛するということです。敬老となられた方々は今後皆さんに敬愛されるようご精進ください。

卓話

財団法人徳川黎明会 徳川美術館副館長 四辻秀紀さん

尾張徳川家の遺産



瑞穂RCは来年30周年を迎えられるそうですが、私どもは来年75周年でございます。現在私立の美術館で一番古いのは東京のオークラ集古館、二番目が倉敷にある大原美術館、三番目が神戸の白鶴美術館、そして四番目がこの徳川美術館です。全国何百館ある美術館の中でも草分け的に古い存在であります。コレクションの形相が他の館とは異なっており、ほとんどの館が近現代の実業家の方々が目を通して集めたコレクションであるのに対し、私どもの美術館は徳川ゆかりのものを集めた美術館でございます。徳川と言ってもたくさんございますが、御三家筆頭の尾張徳川家に関するものを主に収蔵しております。水戸は分家の一橋家から十五代将軍が出ておりますが、尾張からは誰も将軍になっていません。また、尾張徳川家七代目の殿様に宗春という人がいたのですが、その殿様は当時の将軍吉宗が経済的に苦しくなり縮小経済を展開していた時代に、逆にどんどん拡大経済を展開し、その効果で当時名古屋が全国で一番活性化されたものの、そのことで将軍家と対立してしまい幽閉され、亡くなったあと100年間墓石に網がかけられるという罪人扱いをされておりました。そういうこともあり、明治以降の講談やドラマでは悪役としておもしろおかしく描かれることがあります。

初代義直は西暦1600年に生まれており、8歳のとき兄が亡くなったため清須城主となります。そして10歳で名古屋へ入ってまいりました。その1610年に名古屋城が作られ、来年が築城400年となります。大阪の陣の翌年、家康が駿府城で亡くなります。家康が晩年使っていた様々な道具を御三家で分け、それを「駿府御分物(すんぶおわけもの)」と言っております。その駿府御分物が徳川美術館の中核となっております。それ以外にも豊田秀吉や織田信長、足利将軍家のものや、日本だけでなく中国、朝鮮半島、東南アジア、ヨーロッパのものまであります。もちろん本もたくさん含まれております。そして義直以下歴代の藩主やその家族が実際の生活で使ってきた道具なども収蔵されており、世界的に見ても色々な珍品・名品がございます。十九代の殿様の義親は越前の松平家から養子に入った方ですが、この人が昭和6年に財団法人を設立し、そこに先祖伝来の重宝類を一括寄贈しました。そしてそれを公開するためにオープンしたのがこの徳川美術館です。隣にあります蓬左文庫と一体となり、尾張徳川家の大名文化を発信しております。名古屋には本当に様々な文化の蓄積がございます。築城400年を機に私どもも色々な催事を展開していこうと思っておりますので、ご支援のほどよろしくお願い致します。

今週卓話

9月24日(木)

会員卓話:(アドバイザー)田口 豊さん
(在籍5年未満会員)市岡正蔵さん
テ - マ:若手会員よりのメッセージ

次週行事

10月1日(木)

ガバナー補佐訪問

次々週卓話

10月8日(木)

卓話講師:地区米山奨学委員長 竹内一郎さん
テ - マ:米山奨学会の現況と地区委員会の役割